

みなさん、こんにちは。ほくほく新報を手にとったいただき、ありがとうございます！この新報がどういったものを説明する前に、まず、ほくほく新報を制作している団体「長崎ソカイネットワーク」を立ち上げたきっかけをお話します。震災の直後、私の昔の職場（農水省）の同僚たちから「1日150万食」(避難者50万人×3食)の輸送が難航していると聞き、「被災していない地域で一時避難を受け入れるほかない」と考えたことがきっかけでした。しかも、福島県は、私が学生の頃、何度も訪れた場所であり、宮城県から岩手県の沿岸

は仕事で現地調査をして廻ったなじみ深い場所でした。自分が行った宮古の貯木場が、津波に流されている映像を観て慄然(りっぜん)とし、多数の死者に胸が潰れる思いでした。長崎ソカイネットワークは、被災地を離れ、長崎で疎開生活を始める方々を支援するボランティア団体です。現地へ行くのではなく、被災地から来られた方々に、長崎市民を中心としたボランティアスタッフが、日常生活をお手伝いします。例えば、初めて来たところまで「どのバスに乗ればいいのか」なんて最初からわかりませんよね？まして、長崎



長崎ソカイネットワーク  
共同世話人 橋本剛 (はしもと つよし)  
1969年生まれ、長崎市出身。長崎ソカイネットワークの立ち上げの場所である長崎市の夢彩都にあるスターバックスにて。現在は、中島川流域委員会事務局も兼任。

# 創刊にあたって

長崎ソカイネットワーク共同世話人 橋本剛



発行  
長崎ソカイネットワーク

活動拠点  
長崎市馬場町21-2市民活動センターランタナ2階

名物の電車に乗ることだけでも、「西浜町」の次の停留所がまた「西浜町」だったり、なかなかたいへんです。実は、最近もこんなことがありました。東北から長崎に来る決心をされたとの連絡をいただいたのですが、長崎空港から長崎市内へのリムジンバス(出島道路経由と浦上経由の2種類がある)で、悩まれるだろうと思つて、つい心配になつて長崎空港までお迎えに行きました(笑)。

現在も、ボランティアスタッフが募集中です。長崎市が市営住宅などに受け入れる方々のサポートをし、必要となる生活用品の提供の呼びかけや、疎開生活に応じた貸し出し・提供を行つております。また、疎開暮らしを送る方々に被災地の情報や、長崎での情報も発信していくつもりです。この「ほくほく新報」もその一端を担っています。ボランティアの連絡先は左記のとおりです。ほかのボランティア団体の情報へもアクセスできますので、ぜひご覧ください。

## ソカイネット活動記録

3月22日(火) 長崎市内の「スターバックス」にて、関係者(その後発起人)が集まって方向性を相談。「長崎ソカイネットワーク」の名称決める。

3月24日(木) 長崎市民活動センター「ランタナ」担当者と実務的な詰め。

3月25日(金) 午後4時半から「長崎ソカイネットワーク」設立について記者発表(画像)。(株)MIBジャパンのご厚意を得て、同日から携帯サイトでボランティア(サポーター)登録受け付け開始。

※ TV各局、新聞各紙で紹介。

3月26日(土) ウェブサイト(パソコン、携帯、i Phone)立ち上げ。新着情報を流すブログとツイッターも開設。

3月27日(日) 長崎市内の中島川公園(眼鏡橋周辺)で開催された「震災支援バザール@眼鏡橋」(中島川流域委員会主催)で事務局テントの中に「長崎ソカイネットワークブース」を設け、活動のPRとボランティア登録受け付け。また、毎日新聞社から提供を受けた被災地の写真をパネルにした写真展を同時開催。被災地入りした同社記者の解説付き。※震災支援バザール@眼鏡橋と併せてTVローカルニュース、新聞各紙で報道。

3月28日(月) 長崎市長も定例記者会見の中で「長崎ソカイネットワーク」の活動に言及。

3月31日(木) 午後6時半から、長崎市民活動センター「ランタナ」において、長崎ソカイネットワークの「旗揚げ」。発起人や登録ボランティアのうち2

5人が集まる。※旗揚げの様子がNHKほかで報道。また、新聞各紙で紹介。

4月1日(金) 長崎ソカイネットワーク事務局始動。

4月5日(火) 物資受付を開始。長崎市魚の町の市民会館横アマランス入口にカウンターを設けて受付。また、既に長崎に疎開されている方々や、疎開を検討している現地の方々から連絡が入り始める。※物資受付について、新聞で紹介。

4月6日(水) 長崎軽運送協業組合(山中康至理事長)が全面的支援を快諾いただく。

4月8日(金) 登録ボランティア2名で、長崎滞在中の被災地の方のホテル移動を支援。初仕事。

4月10日(日) 長崎ソカイネットワークと指向性が似ている「上五島受け入れの会」が来訪し懇談。

4月11日(月) 長崎軽運送協業組合をはじめとした多数のご協力を得て、大型家電ほかを、提供をいただく方々から運び出し、疎開されている方々の住居まで輸送。

4月15日(金) 登録ボランティア2名で、長崎滞在中の被災地の方のホテル移動を支援。

4月17日(日) 「長崎BLS市民文化研究会」主催、「西友道ノ尾店」「長崎外国語大学学生会」協力のチャリティコンサート(西友道ノ尾店前広場)にて、ボランティア登録ブースを設置。

4月24日(日) 断続的な雨の中、震災支援バザール@眼鏡橋(第2回)において、多数重複しているもの、賞味期限があるものなどをバザーで販売し、60,863円の売上。

4月25日(月) 長崎軽運送協業組合をはじめとした多数のご協力を得て、大型家電ほかを提供いただく

方々から運び出すとともに、長崎市民会館の物資保管スペースから全ての物資をベイエリアの長崎市元船町の旧・日通倉庫へ引っ越し(また、疎開してこられている方のご自宅まで生活物資(毛布)をお届け。

4月26日(火) 福島県から疎開してこられたご家族を長崎空港で出迎え、無償宿泊をご協力いただいた宿へ案内。

4月27日(水) 疎開して来られた家族が入居する民間住宅へ「お掃除隊」を派遣(KTNのニュースで紹介いただきました)。

4月28日(木) 物資受付窓口が長崎市民会館(アマランス口)から、元船町の旧・日通倉庫に移転し、本格稼働。また、疎開してこられた家族の家へ生活物資搬入。

5月1日(日) 午後2時から、長崎市元船町の旧・日通倉庫前で「みんなで看板」イベント実施。

長崎軽運送協業組合、若手の大工さんたち、福田の「安心電気」さんのご協力を得て、引っ越しされる方から家電を受け取り、疎開されてきた方のお宅にお届け・設置。

5月6日(金) 学校のPTA関係者のご協力を頂いて、疎開してきた方々の子弟の学校指定運動着を提供。

5月9日(月) 長崎軽運送協業組合のご厚意により、疎開されてきた方々のご自宅へ家具を運び込み。

5月10日(火) 疎開してきた方々向けの広報紙「ほくほく新報」第1号お届け。

5月11日(金) 長崎軽運送協業組合、福田の「安心電気」さんほかのご協力により、疎開されてきた方々のご自宅へ家電・家具などを運び込み。